

守屋 友樹 MORIYA Yuki

未

米原 康人 YONEHARA Yasuto

細川 華子 HOSOKAWA Hanako

来

の

澤田 華 SAWADA Hana

途

松浦 茜 MATSUURA Akane

中

眞鍋 沙智 MANABE Sachi

金 寶恩 KIM Boeun

の

石黒 健一 ISHIGURO Kenichi

星

大橋 麻里子 OHASHI Mariko

座

美術・工芸・デザインの新鋭9人展  
Constellation on the Way to the Future: 9 Newcomers of Art, Craft and Design

2017.1.10[火]-2.24[金]

京都工芸繊維大学美術工芸資料館  
Museum and Archives, Kyoto Institute of Technology

主催=文化庁、京都工芸繊維大学、京都工芸繊維大学美術工芸資料館 制作=京都工芸繊維大学美術工芸資料館  
文化庁委託事業「平成28年度次代の文化を創造する新進芸術家育成事業」

開館時間 = 10:00-17:00(入館は16:30まで)

会場 = 京都工芸繊維大学美術工芸資料館

休館日 = 日曜日・祝日、1月14日(土)

入館料 = 一般200円、大学生150円、高校生以下無料

京都・大学ミュージアム連携所属大学の学生・院生は学生証の提示により無料



京都・大学ミュージアム連携  
University Museum Association of Kyoto



京都工芸繊維大学  
美術工芸資料館  
MUSEUM AND ARCHIVES

# 未来の途中の星座

美術・工芸・デザインの新鋭9人展

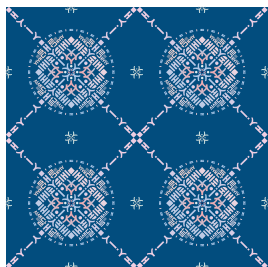
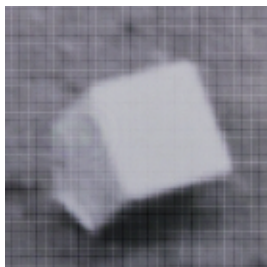
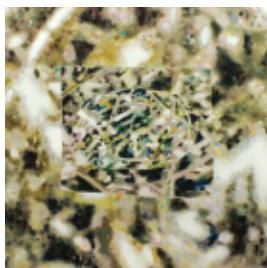
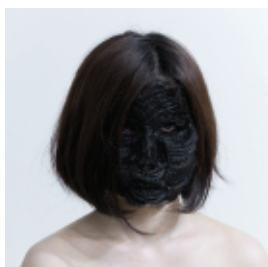
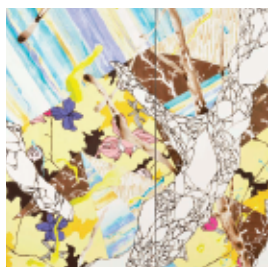
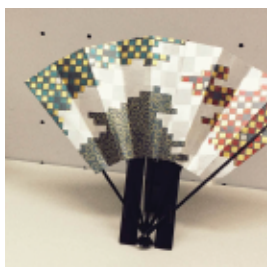
Constellation on the Way to the Future:9 Newcomers of Art, Craft and Design

2017.1.10[火]-2.24[金]

京都工芸繊維大学美術工芸資料館が若手作家の成長を支援する「未来の途中」プロジェクトをはじめ、4年目を迎えました。これまで30余名の美術・工芸・デザイン分野の20歳代・30歳代の作家たちと協働し、あらためて作家によって成長の定義は様々であること、そうであるがゆえに成長支援は一筋縄ではいかないことがわかりました。ともあれ、ふだん交流する機会の少ない現代美術作家と職人的な工芸作家が作品や制作活動をめぐって語り合ったり、プロジェクト参加作家同士がコラボレーションしたり、あるいは参加作家同士の交流からプロジェクトとは違った場での展覧会が自主的に組織されたりしていることは、このプロジェクトの成果であると言って良いでしょう。

さて、この「未来の途中の星座-美術・工芸・デザインの新鋭9人」展は、今年度「未来の途中」プロジェクトの4期生として公募と推薦によって選ばれた作家たちの作品を展覧するものです。なぜ星座なのか。ふたつの理由があります。ひとつは、夜空に見出される星座のように、出品作家や作品同士が展覧会という場で緩やかにつながることを期待しているから。もうひとつは、今回の展覧会をつうじて若手作家の道行きにあたりし星座を描きたいと考えるからです。複数の星が結び形づくられる星座と同じように、作家の「現在」は過去の色々な出来事から彼/彼女が得た経験によって形づくられています。本展ではそのようにしてある作家の現在=星座に対して、作品を発表・展示する機会、自作について思いを語る機会、キュレーターや批評家、そして鑑賞者のみなさまから批評を受ける機会を作ることで、働きかけを行いたいと考えているのです。

「未来の途中」にいる9名の若手作家たちの瑞々しい表現を、鋭い眼差しをもって、存分にお楽しみください。



1 米原 康人  
《flash back》2016年

2 大橋 麻里子  
《La Forest》2015年

3 細川 華子  
《beast\_portrait#001》2014年

4 松浦 茜  
《ミスアプリントのそのあと》2016年

5 石黒 健一  
《Empitiness (Light bulb)》2009-2016年

6 守屋 友樹  
《シシが山から下りてくる》2016年

7 澤田 華  
《Blow-up (an object in Anchorage, 1964)》2016年

8 眞鍋 沙智  
《Infinity》2012年

9 金 寶恩  
《ハンゲルで結ぐ韓国の1年》2016年

## 【関連イベント情報】

### アーティストトーク1

2月4日(土)13:00-15:00 ゲスト:中井康之(国立国際美術館学芸課長)

### アーティストトーク2

2月18日(土)13:00-15:00 ゲスト:清水有香(毎日新聞学芸部記者)

出品作家がゲストとともに出品作品やこれまでの作品について意見交換します。

\*いずれも参加費無料(要入館料)・申込不要

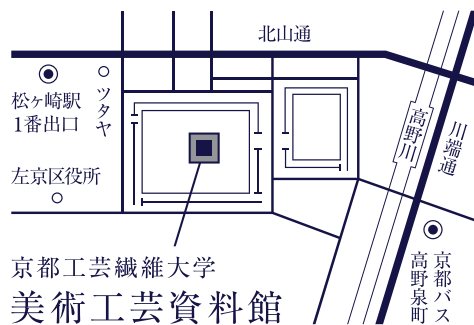
### 作品を評価してください!

出品作家たちは皆様からの感想・意見・批評を待っています。皆様からいただける言葉が若い作家たちの糧になります。辛口の批判、ここが気に入ったなど、なんでも結構です。館内にある「鑑賞者の眼シート」に、気になった作品・作家とコメントをご自由にお書きいただき、備え付けのボックスに投函ください。

## 【同時開催】

1月10日(火)ー2月18日(土)「守住勇魚と京都高等工芸学校」展

## 【アクセス】



京都工芸繊維大学  
美術工芸資料館

[地下鉄]京都市営地下鉄烏丸線「松ヶ崎」駅から徒歩8分  
[バス]京都市バス「高野泉町」下車、徒歩10分

京都工芸繊維大学美術工芸資料館  
〒606-8585 京都市左京区松ヶ崎橋上町  
Tel: 075-724-7924 www.museum.kit.ac.jp